

Real Design

リアル・デザイン

「2008年はデザインがキーワード」

March 2008

880yen

2008年3月1日発行

第3巻第4号

通巻26号(毎月一回1日発行)



日本をつくる・動かすデザイナー50人

欲しくなるデザイン

2008 DESIGN

世界が認めたクリエイター

吉岡徳仁&佐藤可士和

気になるデザインはこの人です

注目したい若手デザイナー10人

これは常識!

知っておきたい日本人デザイナー名鑑



特別記事

名作インテリア・デザイン案内

第2特集

男性に・女性にあげたいプレゼント



01

YURAS

02

エムエフビーライフ準備会社

03

ヴァン・ダー・アーキテクト ジャパン

Desk top of designed office

気鋭建築家の アイデア・オフィス

ワークスタイルが違えば、オフィス空間も違って当たり前。気鋭建築家のアイデアがあれば、スタイルに合わせたオーダーメイドのオンリーワン・オフィスが実現する。

文=加藤 純 (P.130-P.131)、山下 薫 (P.132-P.133)、編集部 (P.134-P.135)
写真=工藤裕之 (P.130-P.131)、村山玄子 (P.132-P.133)、榎田正道 (P.134-P.135)
text:Jun Kato, Kaoru Yamashita, Real Design
photo:Hiroyuki Kudo, Hiroko Murayama, Masamichi Enokida



一軒家の中の“小屋”オフィス

ヴァン・ダー・アーキテクト ジョバン

Desktop of designed office



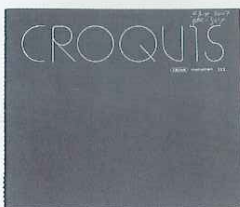
製図、スケッチはステッドラーで

建築家やデザイナーに支持者が多いステッドラーの芯ホルダー。黒と赤をふたつ持ちして、その都度使い分けているという



サインペンはスタンダードなものを

スケッチを描くときの必需品、サインペンは基本の3色をそろえている。ぺんてるのものが定番ながら一番使いやすく、コストパフォーマンスも素晴らしく気に入っている



スケッチブックはマルマンで決まり

ノートはずっとマルマンの「CROQUIS」に決めている。他にはないサイズや紙質、リング式の使い勝手のよさが病みつきになる理由



わざわざ買い足したお気に入りの椅子

マーティンさんが個人的に好きだという秋田木工の曲げ木の椅子。オフィス移転の際にも買い足したほど。プレゼンテーションルームにも置かれる



スチールケースのオフィスチェア

「あまりブランドものは好きではない」というマーティンさんだが、作業するときのチェアはスチールケースを使用。見た目はシンプルでも機能的な一隅

ヴァン・ダー・アーキテクト ジャパン

東京都大田区田園調布
3-26-22
Tel: 03-5483-6680
www.vanderarchitects.com

Worker's Data

性別：男
職種：建築家・代表取締役



上) マーティンさんの部屋の中には、イームズのチェア & ローテーブルが置かれている。下) 古いトビラの鍵もそのまま生かした



2部屋の壁を抜いたプレゼンテーションルーム

もとはふたつのベッドルームだったところを壁を抜いて一部屋に。構造上残ってしまった柱に合わせてユニークな形の大テーブルを手作り

ヴァン・ダー・アーキテクトのオフィスは外から見ただけでは、そこがオフィスであると気づく人はいないだろう。どうしても大好きな田園調布にオフィスを構えたかったという代表のヴァン・ダー・リンデン・マーティンさんの希望をかなえるため、見つかった場所がたまたま、住宅地にある一軒家だったのだという。しかし一歩中へ足を踏み入れると、そこはヴァン・ダー・ワールド全開。家よりはきちんとしていて、普通のオフィスよりは居心地がいい。そんな空間を目指すべく考えられたアイデアが「小屋をつくる」ことだったのだという。実際には小屋を建てるのではなく部屋の壁に廃材を切って家の形に貼っているのだが、それがオフィスの中にいてもどこか懐かしい、寛げる雰囲気を感じ出している。もともとの一軒家の間取りを最大限に生かしているため、キッチンや収納は取り去ることなくそのまま存在している。それにも関わらずこれだけのオリジナリティを出しているのだから、そのオフィスデザインの實力は一目瞭然だ。

彼らがオフィスデザインを請け負うときのコンセプトは、WORK VITAL MIN。働く人が活力をもって気持ちよく働ける環境づくり。彼らはそれを自ら体現しているといえるだろう。